

屋久島生態系モニタリング

愛子岳植生垂直分布調査 (平成18年度調査)

・愛子岳斜面 (標高1200m地点)

プロットは、急峻な露岩上の狭小な群落で、斜面は北東向きで平均傾斜角は43°と急である。

プロットの階層別植生は、高木(亜高木)層は、林冠の高さがと低く、高木層と亜高木層は区別できないため一体として扱う。スキが優占種となるが、個体数はアカガシが多く、次いでシキミ、ヒメシャラ、ヒキ、ウラジロガシ等が混生する。やや下層にサラツツジ、ハイノキ、ソゴ、ヒメサカキ、コツハネツギが出現する。コツハネツギ・ヤマシキミ・マルバヤマシゲ、ゴカクツギなどは、低木性樹種だが、このプロットでは、亜高木の中に抽出している。

低木層では、ヒメカガシなどの低木性樹種の階層に移行する階層となり、ヒメサカキ・ゴカクツギ・サルトリイバラなどが見られる。

低木層では、ヒメカクツツジ、ヒメカガシ等の低木性樹種と、ウラジロなどのやや背の高い草本種の混生するやや判然とした階層である。

草木層では、コソダ、シシガシラなどのシダ類が矮小化して生じている階層で、ヤクシマヤマシシ、ヤクシマチャボ、セキショウ、ヤクシマカラマツ、ヤクシマコトギリ等の屋久島特有の小型化した植物種が見られる。イガシ、ヒイラギ等の高木性樹種の稚樹も見られる。



朝焼けの愛子岳

自地森様宮まる係管会に産平島境管
 然域林性城会すこ機理議お地成町事理
 環報年条計議。と関のはい域二の務局一
 境告、約画はを相推屋て連一関所をは
 になIC部、目的のを鳥催会度者鹿
 関す地CPか州に連図のし議屋が児め
 る球N1ら森実絡る適まを久出島九
 観規へ0「林施調た正し鹿島席州
 点模の、生管し整めなた児世の、地
 もで遺国物理てを、保。島界下屋方森
 視の産際多局い図関全本市遺、久環



本会議の様子

地挨な野
 域拶け的管
 のにれな理
 の課始ば責
 題まらを業
 とり、な果
 対策「いた
 の世。しし
 方界-てつ
 向遺とい
 性産のか国

二一一年度屋久島世界遺
 産地域連絡会議開催
 屋久島世界遺産
 保全管理に
 ついての
 地域での
 活動

のこ第成作採(筋取もでが久て林
 の方当一この業(筋列)も日本共島、の一月
 森は歩一六の採実(筋列)も日本共島、の一月
 林はす年六の採実(筋列)も日本共島、の一月
 管はポ二二の採実(筋列)も日本共島、の一月
 理ラ年六の採実(筋列)も日本共島、の一月
 署テして二の採実(筋列)も日本共島、の一月
 ・成現見本林の補刈の種
 保成さ地本林の補刈の種
 全た元は復林はの補刈の種
 七た元の平

九州森林の日イベント

講どた加かせ座飾いた今年申
 義も中を校て五のつたお届申
 パソに達の頂九を、実施つてお届申
 ソコもの講、名、六、小、講、座、
 コン熱い座、と、年、生、学、座、の、
 をがが視で、担任の生の小の最後
 活入視で、担任の生の小の最後
 用入視で、担任の生の小の最後
 した入視で、担任の生の小の最後
 した入視で、担任の生の小の最後
 した入視で、担任の生の小の最後

お今年最後の
 講座
 について
 科学委員会の
 議論が
 ありまし
 等



保護柵補修の作業風景

ンター職員を
 一名での作業
 候に恵まれ作
 業中は額に汗



森林の役割など説明している様子

屋久島の植物



サルトリイバラ (ゆり科)

たりににで作ず見て加筋するのから、ま、多とつまうてにれやでにに
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に

ま、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に
 。な、感充、業多休せ、者、筋、作、の、か、た、あ、今、多、と、つま、う、て、に、れ、や、で、に、に

用をの巻きくる
 花に包球きひ植全
 期むむ形つげ光物に
 四の。の赤、果、出、が、葉、分、布、す、る、落、葉、の、厚、つ
 五、に、使、い、す、七、の、植、物、の、餅、mm、に、厚、つ

ヤクタネゴヨウ保全対策連絡協議会屋久島支部会の開催

本協議会は、平成17年度から屋久島種子島両島の松くい虫被害対策及び絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの保全に関し活動しています。

屋久島支部会では、関係機関から20年度の対応報告と今年度の取組について確認を行うとともに、ヤクタネゴヨウ調査隊及び森林総合研究所より種子島における被害状況の報告がありました。

会議では、屋久島における松くい虫被害は沈静化傾向にあるものの、駆除対応によっては被害の再燃が懸念されることから、駆除・防除の方法について再確認し、今後の取組活動についても体制を強化することが議論されました。

ここ屋久島は、アカマツの植生南限地であり貴重種であるヤクタネゴヨウも多く生育しています。種の保護を継続していくためには松くい虫被害の監視と迅速な対応・処理が重要であり、地域住民が自主的に参加している本協議会及び屋久島支部会の果たす役割は大きな成果を上げています。皆さんも島内で赤く枯れたマツを見つけたら「松枯れ110番」まで連絡を是非お願いします。



ヤクタネゴヨウ屋久島支部会の様子

松枯れ110番の連絡先

屋久島町農林水産課・環境政策課
(代表: 43-5900)
屋久島森林管理署(46-2111)
屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊 (44-2965)

低コスト路網研修会の実施 (屋久島森林管理署)

11月5日、宮之浦嶽国有林内において、熊毛流域森林・林業活性化センターとの共催で、高性能林業機械運転技能向上研修会及び、低コスト路網研修会を実施しました。

曇り空の中、林業事業体を主体に、種子島からの参加者も含め、総勢28名での実施となりました。

研修会を始めるに当たり、熊毛支庁の林務水産課長から挨拶を受け、各種資料に基づいた説明を行った後、実際に機械を操作しながらの路網の開設作業を行っていただきました。

参加者は初めて操作するザウルスロボの威力に圧倒されながらも積極的に操作に加わっておられ、路網作設における注意点を、その都度解説したところ「非常に参考になった。」「種子島でも普及に努めたい。」との感想があり、有意義な研修となりました。

今回の研修成果が、民有林においても積極的に取り入れられ、林業の活性化や地球温暖化防止のための間伐等の森林整備が更に推進されることを願って終了となりました。



意見交換の様子



現地実習の様子

屋久島森林情報ポストを開設

九州森林管理局では屋久島世界遺産等の森林を適切に保安全管理するために、立木の損傷や伐採等の異常を発見した場合の情報を提供していただく『屋久島森林情報ポスト』を設置し、国民の皆さんと連携して国有林野の適切な管理を一層推進していくこととしました。

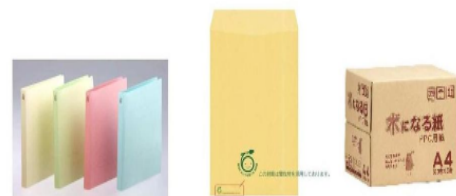
森林情報ポストは、携帯電話のメール、カメラ、GPS機能を活用して、屋久島山岳部に入山する皆様から、森林に関する情報を、九州森林管理局(屋久島森林環境保全センター)に提供していただくシステムです。

入山者の皆様からいただいた情報は、現地状況の確認、捜査、補修整備など、世界自然遺産地域でもある屋久島の森林の保安全管理に活用します。

また、提供いただいた情報への対応状況は、九州森林管理局のホームページに定期的に掲載します。

なお、屋久島においては、当面の間、入山者一般に先立ち、現地に精通しておられる屋久島観光協会のガイドの皆様から情報提供をお願いすることとしております。

九州間伐紙「木になる紙」シリーズ



ファイル

封筒

コピー用紙

林業・山村の活性化や地球温暖化防止に貢献することを目的に間伐材を利用した紙製品(間伐紙)の開発、供給を推進しています。(http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kikaku/kanbatsushi.html)

九州間伐紙の利用(購入)をお願いします。